

新型コロナウイルス感染症対策に係る
熊本県リスクレベルについて

県内の感染状況を踏まえ、専門家の意見も伺い、総合的に判断した結果、熊本県リスクレベルは、**レベル4 特別警報**とします。

【概要】

1 県内の感染状況

期 間	新規感染者数	うちリンクなし 感染者数
7月18日(日)～7月24日(土)	90名	19名

2 国分科会ステージ及び熊本県リスクレベルについて

前回（7月19日発表）	今回（7月26日発表）
レベル3 警報 なお、感染状況は増加傾向が見られる。	レベル4 特別警報 なお、感染状況は増加傾向が見られる。

3 県民の皆様へのお願い

県内においては、多数の新規感染者が生じており、デルタ株の確認も相次いでいます。リンク不明感染者数がリスクレベル4の水準には至っていませんが、早期にアラートを発するため、緊急的にリスクレベル4 特別警報に引き上げます。

現在、有明保健所管内において飲食店等が関連した複数のクラスターが生じ、地域で感染が急拡大しています。また、熊本市において感染者が経時的に増加を見せており、夜間人流の増加の状況等からも、今後感染者の増加傾向が続くと懸念されます。

全国や九州の状況を見ても、急激な感染拡大が起こる可能性があり、これまでよりも迅速な措置が必要と考えられます。よって、有明保健所管内の酒類提供飲食店には営業時間短縮を要請します。また、リスクレベルを5に引き上げた場合、その時点等で熊本市の飲食店への時短要請を行うことを検討しています。

県民の皆様には、福岡県及び感染が流行している地域への移動は控えていただくとともに、普段一緒にいない人との交流は感染リスクを増すことを念頭に、十分注意していただくようお願いいたします。また、引き続き基本的な感染防止対策を徹底していただくようお願いいたします。

熊本県における新型コロナウイルス感染症に関する概況

【令和3年（2021年）7月26日】

1 熊本県における現状認識

全国的に感染は拡大傾向であり、特に緊急事態宣言の期間中であるにも関わらず、東京都及び沖縄県では感染者が増加している。夏休みの影響や、大都市部で人流が増加していることを考えると、全国的な感染拡大傾向は継続すると考えられる。福岡県をはじめとし、九州各県でも感染は拡大しており、強い警戒が必要な状況となっている。

本県において、7月18日から24日までの感染者は90人、リンク不明感染者数は19人である。リンク不明感染者数がリスクレベル4の水準には至っていないが、新規感染者が多数であり、デルタ株の確認も相次いでいることから、早期にアラートを発するため、緊急的にリスクレベル4特別警報に引き上げる。

県内においては、有明保健所管内において飲食店等が関連した複数のクラスターが生じ、地域で感染が急拡大している。また、熊本市において感染者が経時的に増加を見せており、熊本市中心部においては夜間人流が増加していることから、今後感染者の増加傾向は続くと懸念される。

全国や九州の状況を見ても、急激な感染拡大が起こる可能性があり、これまでよりも迅速な措置が必要と考えられる。よって、7月27日から有明保健所管内の酒類提供飲食店に営業時間短縮を要請する。また、リスクレベルを5に引き上げた場合、その時点等で熊本市の飲食店への時短要請を行うことを検討中である。

県民の皆様には、感染が流行している地域への移動は控えていただくとともに、普段一緒にいない人との交流は感染リスクを増すことを念頭に、十分注意していただくようお願いする。また、引き続き基本的な感染防止対策を徹底していただくようお願いする。

前回（7/19発表）	今回（7/26発表）
<p>レベル3警報 なお、感染状況は増加傾向が見られる。</p>	<p>レベル4特別警報 なお、感染状況は増加傾向が見られる。</p>

2 熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント (7月25日現在)

- 全国的に感染は拡大傾向であり、夏休み等の影響等により、大都市部で人流が増加していることを考えると、全国的な感染拡大傾向は継続すると考えられる。
- 熊本県においては、7月18日から24日までの感染者は90人、リンク不明感染者数は19人である。現在のところ、リンク不明感染者がリスクレベル4の水準に至っていないが、新規感染者が多く、前週今週比も11日連続で1を上回っており、リンク不明感染者が多い。デルタ株の確認も相次いでいる状況からも、今後の更なる感染増加が懸念される。リスクレベルの目的である早期のアラート発出のため、リスクレベルは4特別警報に引き上げることが妥当である。
- 感染の態様を詳細に見ていくと、現在、新規感染者は有明保健所管内のクラスター関係者のほか、県外行動歴がある者も多い。これは、必ずしも県外で感染したことを表しているわけではないが、国の専門家も、行動範囲が広い活発な世代が感染しやすいことは示唆している。第4波の行動制限が全国的に緩和された中、大都市部における感染が様々な経路で侵入していると考えられる。
- 東京都においては、緊急事態宣言下にあるにも関わらず感染者の増加が止まらず、福岡県も人流の状況等から感染拡大が継続すると考えられる。人の移動や夏休み等の状況を考えても、熊本県にも第5波が訪れたと考えられ、感染拡大リスクは非常に高い状態にある。
- また、熊本県においても、デルタ株への置き換わりが急速に進んでおり、今後、市中感染や飲食店を介した感染等を通して、感染拡大が急激に顕在化する可能性がある。基本的な感染防止対策は非常に重要だが、県においては、感染急拡大の端緒において、機動的に必要な強い対策を実施できるよう、準備を進めていただきたい。時短要請等の強い対策の開始が遅くなると、それだけ感染者が増加し、結局はより強い対策を長期間行わざるを得なくなり、経済に与える影響も強くなると考えられる。
- なお、基本的な感染防止対策を徹底したうえで、ワクチン接種を円滑に進めることで、波の影響を可能な限り小さくすることも重要である。

【国新型コロナウイルス感染症対策分科会の示す感染状況の指標】

	医療提供体制等の負荷				感染の状況				早期探知指標
	①医療の逼迫具合			②療養者数	③検査陽性率		④新規陽性者数	⑤感染経路不明割合	新規陽性者数の前週今週比 前週今週比が1.0を超える状況が継続する場合には注意が必要
	入院医療		重症者用病床		県内全検査	行政検査等※2			
	確保病床使用率	入院率※1	確保病床使用率	週移動平均		週合計	直近一週間		
ステージ4	50%以上	25%以下	50%以上	524人以上	10%以上	—	437人以上	50%以上	
ステージ3	20%以上	40%以下	20%以上	349人以上	5%以上	—	262人以上	50%以上	
ステージ2	感染者の漸増及び医療提供体制への負荷が蓄積する段階								
ステージ1	医療提供体制に特段の支障がない段階								
7月24日	9.4%	65.5%	0.0%	84人	3.5%	12.3%	90人	19人(21.1%)	2.81
7月21日	6.0%	72.9%	0.0%	48人	1.6%	9.4%	52人	18人(34.6%)	4.33
7月14日	3.6%	81.5%	1.8%	27人	0.4%	4.9%	12人	6人(50.0%)	1.33
7月7日	3.5%	65.6%	1.8%	32人	0.3%	2.8%	9人	5人(55.6%)	0.36
6月30日	8.1%	79.0%	8.9%	62人	0.6%	3.4%	25人	5人(20.0%)	0.69
6月23日	10.9%	77.1%	16.1%	83人	0.9%	5.6%	36人	13人(36.1%)	0.88
6月16日	15.4%	80.5%	16.1%	113人	1.0%	5.9%	41人	18人(43.9%)	0.58
6月9日	30.4%	80.1%	25.0%	226人	1.5%	8.2%	71人	23人(32.4%)	0.37

※1 療養者数が人口10万人あたり10人以上（174人）の場合に適用
 ※2 行政検査及び医療機関で陽性が確認された検査の陽性率(参考値)

【熊本県リスクレベル基準】

【目的】患者数が増加に転じるタイミングを早期に捉え、警戒を発する基準を設定することで、感染拡大防止に向けた対策の徹底や県民への早期の警戒を呼び掛ける。

※あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付けられるか、また、具体的な対策は本県あるいは全国の感染状況及びその傾向（拡大・縮小）を踏まえ、実施する地域やその内容も含め、総合的に判断する。

リスクレベル	県の判断基準	対策の考え方・方向性	想定状況
レベル5 警戒警報	県内で ①新規感染者 150 名以上 かつ ②病床使用率 25% 以上 等	<ul style="list-style-type: none"> 重症者、ハイリスク者の救命を最優先とした入院調整。 大規模クラスターや感染拡大の確実な封じ込めのための体制整備、検査実施等。 メリハリを利かせた接触機会の軽減のため、強い制限を要請。 	複数の大規模クラスターの発生
レベル4 特別警報	県内で ①新規感染者 50 名以上 かつ ②リンク無し感染者 25 名以上	<ul style="list-style-type: none"> 地域でのクラスター発生及びクラスター連鎖の予防のため、保健所への人的支援及び幅広い検査、原因施設への指導等を行う。 メリハリを利かせ、これまでクラスターが発生した施設等から順に感染拡大防止対策の強化を要請。 	感染の更なる拡大と、クラスターの散発／連鎖
レベル3 警報	県内で ①新規感染者 30 名以上 又は ②リンク無し感染者 15 名以上	<ul style="list-style-type: none"> 地域でのクラスター発生を予防するため、感染増加の原因に着目し、優先順位を付け、特にハイリスクなところから感染防止対策の強化を図る。 	感染の拡大と、小規模クラスターの発生
レベル2 警戒	県内で ①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合	<ul style="list-style-type: none"> 新しい生活様式や、基本的な感染防止対策の徹底を啓発 	
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生 かつ ②県内では新規感染者が未発生		
レベル0 平常	国内で新規感染者が確認されていない	<ul style="list-style-type: none"> 日常的な対策を啓発 	

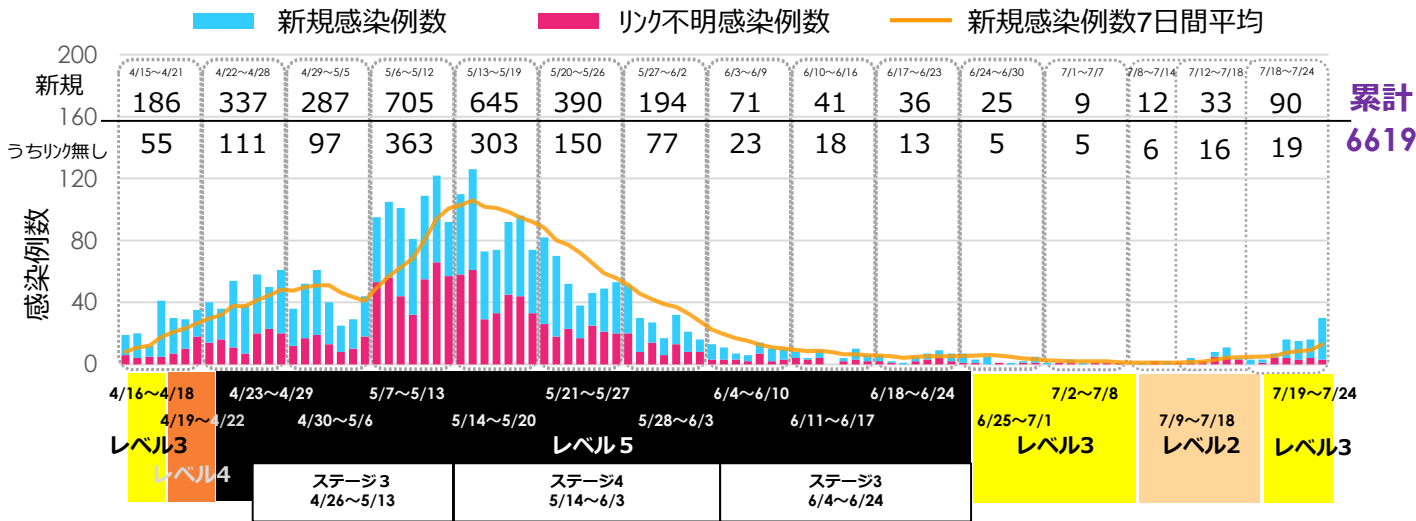
※これ以上の爆発的な感染拡大や、国が緊急事態宣言を行う場合の対応は、状況に応じ、更に強い措置を検討する。

※これまでの感染防止対策の経験を踏まえ、メリハリを利かせた対策を行うことを基本とする。

※国の分科会が示した指標によるステージ分類についても、参考指標とし、毎週公表する。

※今後の感染状況等の最新の知見に合わせ、必要に応じて改定を検討する。

【熊本県における新型コロナウイルス感染者発生状況（4/15～7/24）：確定日ベース】



・リンク無し感染者数は、調査により変動することがあることに注意

【保健所ごとの感染例の確認状況】

保健所名	これまで	7/18～7/24		保健所名	これまで	7/18～7/24	
		陽性者数	人口10万人※あたり			陽性者数	人口10万人※あたり
熊本市保健所	3705	39	5.3	宇城保健所	251	3	2.9
有明保健所	620	39	25.0	八代保健所	313	1	0.7
山鹿保健所	216	1	2.0	水俣保健所	154	0	0.0
菊池保健所	569	6	3.2	人吉保健所	148	0	0.0
阿蘇保健所	131	0	0.0	天草保健所	76	0	0.0
御船保健所	346	1	1.2	計	6529	90	5.1

※ 各保健所管内の人口は平成31年4月1日のものを使用